

ふるさとふちゅう

再発見

【第33回】 府中町で体験、四国お遍路（19）金剛寺（1）

広島新四国八十八カ所の第31番札所は府中町八幡の松崎山金剛寺です。金剛寺は、現住職の祖父が当時

日本領であった台湾で開いた金剛院が始まりと伝えていきます。先代住職（現住職の父）は台湾で生まれ、太平洋戦争が始まった際に日本に帰国しました。たび重なる移転で、記録が散逸し、正確なことは分かりませんが、佐伯郡能美町深江（現江田島市）、高田郡美土里町（現安芸高田市）に移転、更に高尾山中腹の岩谷寺にも勤めていました。

宗教法人の登記は昭和28（1953）年に現在地で行われており、松崎山金剛寺としての活動はこの時から始まったことが分かります。その後、昭和35年に美土里町から本堂・鐘撞堂・三門を移築し、現在の金剛寺の原型ができました。

本尊は弘法大師です。素木の像で秘仏のため大きさは確認できません。台湾から帰国した際には、子供の頃の先代住職が背負って歩いたとのこと。御詠歌で「わだつみを渡りきませる み仏の 衆生済度ふ慈光貴し」と歌われ、御本尊を守つ

てわだつみ（海）を渡り、帰国した経緯が伝わります。

金剛寺は府中中学校の東側の丘陵地の住宅地にありますが、ここはかつて八幡別宮（松崎八幡宮）の供僧院である神前坊があった場所です。正徳2（1712）年の「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」には真言宗の国勝院・神前坊などの五つの八幡別宮の寺院があり、毛利輝元の時代には寺領もあったが、今は山林や田畠、藪になっていると記載されています。『芸藩通志』の地図には「神前坊跡」と記されています。こういった弘法大師と由縁のある場所に新たな信仰の場が生まれたのです。



金剛寺三門

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎286-3266

取り組みましょう！3R（スリーアール）



【リデュース】

ごみの発生、資源の消費をもとから減らそう！

- 必要ない物は買わない、もらわない。
- マイバッグやマイカップを活用する。
- レンタルを利用して、購入を控える。



【リサイクル】

資源として再び利用しよう！

- リサイクルするために分別する。
- 積極的にリサイクル製品を購入する。

家庭ごみは、朝8時30分までに指定されたごみステーションへ



【リユース】

使い捨てず繰り返し使おう！

- 不要になった物は譲り合ったり、リサイクルショップなどを活用する。
- 詰め替えできる製品を選んで、容器を再利用する。

祝日の収集

10/ 9(月) スポーツの日	【普通ごみ】(月)・休収集地区 【有 価 物】(月)収集地区 【大型ごみ】緑ヶ丘、鹿籠一丁目
11/ 3(金) 文化の日	【普通ごみ】(火)・金収集地区 【有 価 物】(金)収集地区

広告